



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2018年4月①号

京都府知事選挙報告

福山さんの得票44.1% 大健闘しました。

出口調査の結果では、無党派層の5割超や、西脇氏を推薦していた立憲民主党を支持する方々の6割が福山さんに投票しました。35.17%という低投票率で、西脇氏は新知事になれたとは言え、有権者のわずか20%程度の支持しか得ていないこととなります。福山さんに投票した人や投票にできなかった人々の意見にも耳を傾ける必要がありますし、西脇氏に投票した方でもおそらく、福祉の充実や地元中小業者の支援などを願っておられるでしょう。福山さんも挨拶でいっておりましたが、しっかりと府政に注目し、意見を言う必要があります。疑惑や隠ぺいだらけの安倍政権の悪政と太いパイプで結ばれるのはごめんです。



今回の府知事選挙は、福山さんの人柄ややる気が、たくさんの方の心に響き、頑張る選挙になりました。

選挙翌日9日に開催された民主府政の会の報告会と北区の会の報告会に参加しました。「勝ちたかった〜!」という福山さんの最初の発声に思わず、胸が熱くなりました。福山知事のもとで、命や暮らしを応援する政治を作りたいです。ほんとに残念です。今回の知事選挙は、最初6人の方の呼びかけから、多くの市民団体や個人の皆さんが集まり、「つなぐ京都」の会が結成され、ポスターやビラ作りにも反映されました。今までにない斬新な『カフェビラ (通称)』などはこれまでの選挙では見たこともないビラで好評でした。新しい取り組みが始まっていることを実感できました。今後の政治革新に繋がっていくのではないかと思います。

議会報告 民間社会福祉施設サービス向上補助金について

京都府において、昭和45年に人材確保や福祉ニーズの多様化に対応するための民間社会福祉施設の積極的な取組を支援する補助金事業を実施され、京都市内の高齢、障害、子どもの施設も利用してきました。しかし、唐突に補助金のあり方の見直しと予算も削減の提案がされ、市内の福祉施設から、不安やこれまでの制度の存続を求める声が上がりました。市長に対して、玉本市議はこの補助制度は、臨時的補充職員の確保や健康診断費用、施設改修費などにあてた借入金の償還にも利用できる等、事業所の運営に不可欠なものであり、継続すべきであり、京都府に再考を求めるよう追及しました。

各福祉施設に対して、新しい補助制度の説明会があり、保育園の方に聞くと、これまでの活用できる補助ではなく、新たに地域貢献する事業を行う場合に出る補助となり、厳しい現場で仕事を増やし、しかも4分の1の事業所負担もして実施するという事は、現場を見ない施策だと疑問の声が広がっています。

引き続き、現場の意見など調査を行い、改善を求めていきたいと思ひます。

つばやき：来年に向けて、出発です。

来年は4月に一斉地方選挙で市会議員、府会議員の選挙があります。そして、7月には参議院選挙があります。5年前に参議院に送り出されていた倉林明子さんが二度目の挑戦をします。すでに大活躍の倉林さんの議席は京都の代表としてなくてはならないものになっています。自分の選挙の方が先ですが、共に頑張りたいと思っています。先に倉林さんのポスターの貼りだしが始まりました。我が家のポスター掲示板です。



新しい年度、新入学や職場の異動など新しい変化がある時ですね。私は議会の常任員会は昨年度と同じく、教育福祉委員会に引き続き所属します。議会運営委員会では、今年度より井坂市会議員と交代し理事の任務にも就きました。しっかりとやりたいと思ひます。町内会の組長も一回、町内会あり、1年に一回、町内会長と会計がまわってきまいます。しかし、私の組は約2年一度回ってきまいます。私は3年一度回ってきまいます。私はずっと町内会長も会計もやっています。集めにまわっていき、町内会費をすまわす、今年が初めてです。でも地域の役員も兼ねていまして、忙しいお一年になります。暴走を絶対止めたいです。守りません。選挙法九条は絶対守ります。知事選挙で合はせて頑張り一年にしたいと思ひます。

初めての組長さんと議会の理事

アンケート

